

平成 19 年度 知床世界自然遺産生態系調査報告会

主催：環境省釧路自然環境事務所

日時：2008 年 3 月 10 日（月） 09:30～18:00

場所：札幌学院大学 社会連携センター 301 教室

開催趣旨

知床半島およびその周辺海域では、陸域・海域を問わず多分野の調査研究が多くの主体によって実施されている。陸域では古くから動植物に関する調査研究が行われ、様々な成果が蓄積され、海域では2007 年より精力的な調査が行われるようになり、新たな知見が得られつつある。しかし、各研究の進捗状況、成果および課題を研究者間、研究者と行政間で広く把握する機会がないのが現状であった。本報告会は異分野間の研究交流の機会として平成18 年度から開始され、知床の生態系をまさに一つの「系」としてとらえ、研究を効率的に進めていくためのネットワークの構築、本地域の学術研究やモニタリングの安定的推進、及び、保全に資することを目的としている。また、世界自然遺産地域の管理を担う行政機関も参加することで、順応的管理に不可欠であるモニタリング調査について、研究者グループとの情報交換を進め、密接な連携協力を考える。

プログラム

09 : 30—09 : 35

挨拶 環境省釧路自然環境事務所 所長 北沢克巳

09 : 35—09 : 40

趣旨説明 山中正実（知床財団）

09 : 40—10 : 40

（※氏名左上の○は報告者）

陸上動植物関連調査報告 座長 石川幸男（専修大道短大）

- ・ 知床の植物相
 - 高橋英樹（北大総合博）・岩崎建（北大農学院）
- ・ 硫黄山周辺におけるシレットコスミレの分布状況
 - 内田暁友（知床博）
- ・ シレットコスミレの遺伝分析経過報告
 - 工藤 岳・亀山慶晃（北大院地球環境科学）

- ・ 知床半島におけるヒグマの遺伝子分析結果
 - 釣賀一二三（道環研）・増田隆一（北大創成科学共同研究機構）・間野 勉（道環研）・山中正実・岡田秀明・小平真佐夫・中西将尚・葛西真輔（知床財団）
- ・ 希少猛禽類保護増殖事業の概要
 - 中川 元（知床博）
- ・ 移入種（アメリカオニアザミ）の現況調査
 - 岡田秀明（知床財団）
- ・ 移入種（アライグマ及びミンク）の現況調査
 - 池田 透（北大文）（石川座長による代理報告）

10：40－10：50 ～ 休憩 ～

10：50－12：10

エゾシカ・植生相互関係調査 座長 梶 光一（東京農工大）

- ・ 海岸植生のシカ採食圧モニタリングに向けた現況調査
 - 石川幸男（専修大道短大）・小平真佐夫（知床財団）
- ・ 知床連山における採食圧モニタリング（登山道高山帯部分における利用者の影響モニタリングを含む）
 - 石川幸男（専修大道短大）・中西将尚（知床財団）・宮木雅美（道環研）
- ・ 幌別地区の海岸天然林における採食圧と回復過程モニタリング
 - 小平真佐夫・岡本征史（知床財団）・村上智子（(株)村山ギソー）
 - （代理報告：○石川幸男）
- ・ 知床岬における植生回復試験
 - 石川幸男（専修大道短大）・青井俊樹（岩手大）・村上智子（(株)村山ギソー）
- ・ 森林植生における広域採食圧調査について（平成19年度知床における森林生態系保全・再生対策事業（広域調査）の概要）
 - 北海道森林管理局・(株)森林環境リアライズ・○渡辺 修（報告者）(株)さっぽろ自然調査館
- ・ 密度操作実験地採食圧調査
 - 梶 光一・山本悠子（東京農工大）・宮木雅美（道環研）
- ・ 知床半島におけるエゾシカの生息動向について
 - 小平真佐夫（知床財団）
- ・ 知床岬におけるエゾシカ密度操作実験について
 - 小平真佐夫（知床財団）

12：10－13：10 ～ 昼食 ～

13 : 10—14 : 00

海域調査（海洋環境・低次生産） 座長 齊藤誠一（北大院水産）

- ・ オホーツク海北西部からの物質供給が知床周辺海域の生物生産にもたらす潜在的インパクト—鉄・有機物・汚染物質
 - 中塚 武・西岡 純（北大低温研）・白岩孝行（総合地球環境学研）・アムールオホーツクプロジェクト全メンバー
- ・ 衛星リモートセンシングによる知床半島周辺海域におけるクロロフィルa濃度分布の季節・経年変動解析
 - 齊藤誠一・平澤 享（北大院水産）
- ・ 知床半島沿岸域のサイズ別クロロフィルa濃度と基礎生産量
 - 塩本明弘（東農大生物産業）
- ・ 知床羅臼深層水により採集された動物プランクトン群集の季節変化
 - 山口 篤（北大院水産）・野別貴博（知床財団）
- ・ 知床沿岸における海洋観測ブイによる観測について
 - 原田 忠（（株）エコニクス）

14 : 00—14 : 50

海域調査（生物相モニタリング） 座長 矢部 衛（北大院水産）

- ・ 知床沿岸における浅海域の海藻相
 - 阿部剛史（北大総合博）・小亀一弘（北大院理）
- ・ 知床沿岸における潮間帯の無脊椎動物相及びその季節変化
 - 千葉 晋・園田 武（東農大生物産業）・五嶋聖治（北大院水産）・野別貴博（知床財団）
- ・ 知床沿岸における浅海域の魚類相
 - 矢部 衛・鶴岡 理・楠目祐子（北大院水産）・野別貴博（知床財団）
- ・ 音響手法を用いた知床半島におけるコンブ群落の分布域調査
 - 宮下和士（北大北方生物圏 FSC）・南 憲吏・伊藤祐介（北大院環境科学）・野別貴博（知床財団）
- ・ 知床半島周辺海域における水中ロボットカメラによる生物調査
 - 山本 潤・岩森利弘（北大北方生物圏 FSC）・野別貴博（知床財団）・桜井泰憲（北大院水産）

14 : 50—15 : 00 ～ 休憩 ～

15 : 00—16 : 00

海域・河川調査（指標種） 座長 桜井泰憲（北大院水産）

- ・ 知床半島両側における魚類の食物関係調査 ～スケトウダラ及びマダラの食性～
 - 加藤寛紀・桜井泰憲（北大院水産）・山本 潤（北大北方生物圏 FSC）・野別貴博（知床財団）
- ・ 音響テレメトリーを用いたシロザケおよびカラフトマスの移動生態
 - 宮下和士（北大北方生物圏 FSC）・本多健太郎（北大院環境科学）・水越麻仁（北大水産）・野別貴博（知床財団）
- ・ 羅臼沖における高次捕食者相の出現の季節変化（速報）
 - 小林万里（東農大生物産業）・笹森琴絵（北の海の動物センター）・福田佳弘（知床海鳥研）・石名坂豪（北の海の動物センター）
- ・ 知床半島ルシヤ川におけるサケ属魚類の河川遡上動態および陸域生態系への物質輸送
 - 横山雄哉・越野陽介・工藤秀明・帰山雅秀（北大院水産）・野別貴博（知床財団）
- ・ ルシヤ川におけるダムの改修効果
 - 小宮山英重（野生鮭研）

16 : 00—16 : 30

社会環境モニタリング 座長 小林昭裕教授（専修大道短大）

- ・ 社会環境モニタリングを始めるにあたっての枠組み
 - 小林昭裕（専修大道短大）
- ・ 2007 年度に実施された社会環境モニタリングの概要および結果
 - 岡田秀明（知床財団）

16 : 30—16 : 40 ～ 休憩 ～

16 : 40—18 : 00

総合討論

座長 大泰司紀之（知床世界自然遺産地域科学委員会 委員長）・松田裕之（横浜国大）